



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「私たち中小企業家が長崎を牽引していく!!」
～遅しく拡大を続ける長崎同友会 会勢600名を達成しよう!～

第20回 経営フォーラム 2013 in SHIMABARA

今、私達が変われば地域が変わる!!

同友会理念を学び経営者自らのブランド力を高めよう

開催日：2013年11月8日（金） 場所：HOTELシーサイド島原



記念講演

地域を元気にする中小企業ブランド術

(株)DDR 代表取締役社長 ブランディング プロデューサー
安藤 竜二 氏

島原支部 上田五月男

記念講演は株式会社DDR代表取締役社長ブランディング プロデューサー 安藤竜二氏による「地域を元気にする中小企業ブランド術」というタイトルで熱く語っていただきました。いつかこの長崎で話をしていただきたいという思いが、ま

さかこんなにも早く実現できるとは・・・笑

講演の話はまさにメインテーマ「今、私達が変われば地域が変わる」にふさわしい内容でした。

「値段では無く、物語・ストーリーを伝えていく」これは、商品に限らずどんな思いで創業したのか？どんな思いで商品を開発したのか？どんな思いで経営しているのか？それぞれに色々な思いがあり現在があるのだと思います。その思いを伝える為には、経営者自らその思いを伝え続ける事！

「100人の中の100人ではなく、100人の中の1人に伝わればいい」

目次

第20回 経営フォーラム2013in SHIMABARA

参加報告	1
五島支部例会報告	7
中同協 幹事会参加報告	8
中同協 社員教育活動全国研修交流会 in 秋田 参加報告	8
九州・沖縄ブロック事務局研修交流会	9

委員会活動一覧	13
1月例会案内	13
新会員紹介	15
理事会報告	17
会員活躍	18
会員消息	18

ブランドとは消費者との約束の証。

ブランドとはぶれない事、イメージの連続、伝え続ける事が大事ということを言われていました。その結果、経営者自らが変わり、会社が変わり、そして、この地域が変わるということを学ぶ事が出来ました。

また、自分の会社を100文字で、商品のこだわりを75文字で表現する事を社員さんを巻き込んで話をしてみる事で色々なものも見えてくると。

そして、一番印象に残った事は、最後に言われた「やれないのではなく、やらないだけ」この言葉胸に刺さりました。

行動することから全ては始まる・・・

行動しないと何も変わらない。



行動しないと見えてこない。

大変、考えさせられました。

仕事も同友会活動もすべては行動することから始めて行こうと参加された皆さんは感じられたように思いました。

第1分科会～企業連携～

「何故、今、連携なのか」

長崎同友会がめざす企業連携COLABOとは

九州経済産業局 総務企画部総務課長 松田 一也 氏



長崎同友会企業連携推進協議会準備室 室長
内山 洋二

今期、企業連携推進協議会準備室を県に立ち上げていただき、準備室の最初の事業をこのフォーラムに機会をいただき、有難うございます。

次年度、長崎県中小企業家同友会 企業連携推進協議会 仮称「コラボ」の設立の前に、連携とはいう課題と連携するとはという課題について、報告者として最もふさわしい方と存じ、九州経済産業局 総務企画部総務課長 松田一也氏にご報告いただきました。

松田課長のご紹介では、プロフィールの部分はノートを参照くださいと発言し、松田課長には、「今行われていること、そして各方面との連携そして今後の連携、長崎同友会コラボへの助言そして長崎経済人への助言などを通し、ご報告をいた

だき、さらには、長崎中小企業家同友会 企業連携推進協議会（仮称：コラボ）へのアドバイもお願い出来れば幸いです。」というご紹介させていただきました。分科会のねらいは、皆様に「このフォーラムでのテーブルディスカッションを、連携の機会ととらえ、連携を模索し、まさに連携の相手まで探す機会にさせていただきたいと思います。」と発言し、松田課長へバトンタッチしました。

松田課長の報告内容は「1. 景気の現状、経済の今後の流れを予測しましょう。2. 政策の動きや支援施策の情報を把握しましょう。3. 成功している企業のエキスを吸い上げましょう。4. 連携の可能性を探りましょう。5. 具体的な行動に移りましょう。」という内容でのお話しされる予定でした。しかし、話を初めて最初に、「各テーブルにはテーブル長がおられますが、その方はテーブルの進行役でしょうからその役をお願いします。発表者の方は事前に決まっているとお聞きしていますが、連携プランを各自にそれぞれ作っていただき、それぞれが各テーブルにてプレゼンしていただき、テーブルの中で一番いい内容と思われる方に発表者になっていただきたい」とお話しされ、報告がスタートしました。

九州経済産業局に入局し、九大での准教授・客員教授・講師などをし、そこで出会った福岡同友会との関係で、ファストの立ち上げから深くかわり、各地の地域連携、農商工、九州獅子の会、九州の食の会等のことを含めて、連携の重要性を



強調され、私は今後ともいろいろな分野の方々に
おせっかいをしていきたい等、ユニークな報告を
いただきました。順当なら次はテーブルディス
カッションという事になるのですが、課長はマイ
クを続け、「まずテーブルでは3分自己紹介をお
願います。各自連携プランを考えていただき、
お配りしているフォーム紙に書き込み、それぞ
れが各テーブルで5分間プレゼンしてください。そ
の中でのベストプランをされた方のプランを、皆
様でさらに詰めていただき、模造紙を準備して
いただいておりますので、それに書き込み、前
に来てそのプランを出した方に発表していただ
きたい」と言われ、我々にタイムキーパーを
お願いされ、テーブルディスカッションが
スタートしました。

約20分後、「話が終わりましたか、では今
から人口減、少子高齢化の中で、省エネ・新
エネ、ヘルスケア、農業、人材育成、国内海
外の事をかんがみ、この方向性を踏まえた
プランをフォーム紙に20分程度で書き込
んでください。」そして各テーブルでは各
人が真剣に書き込み作業に入り、タイムが
過ぎたところに、「では今から一人ずつ（5分
で）プレゼン下さい。」「他の方々は、その
プレゼンのそれぞれのコメントに対して、更
に（付加価値をつけるアイデアや新たな連
携の可能性等を、）言ってやって下さい。」そ



て5分経過するごとに、「はい次の方プレゼン
して下さい」それをプレゼンが終わるごとに
繰り返しされました。終わった段階で、「こ
れまでの各自のやりとりの中から、一番い
いプランをした方を発表者にその内容を各
テーブルでブラッシュアップして下さい。そ
して次に模造紙にまとめた内容を書いてい
ただき、出来たテーブルから発表をして
ください」発言し、各テーブルを回りなが
らアドバイスもしていただきました。その
後のテーブル発表も完全にプレゼンになり、
とても今までの例にない姿になりました。
松田課長には全力で我々にぶつかって
いただきそして、コメントも的確に
いただき、連携とのテーマにふさわしい
分科会となり、ただただ私的に大満足の
分科会でした。

そして次年度の長崎県中小企業家同友会
企業連携推進協議会設立へ大きな励みと
なりましたこと、誠に松田課長はじめ各
テーブルの皆様にお世話になりました。そ
してありがとうございました。

次の事業として、1月18日の賀詞交歓
会には、中同協の企業連携推進協議会
会長畑野氏を講演者にお迎えいたしま
す。そちらもよろしくお願い致します。

V・ファーレン長崎



V-VAREN
NAGASAKI

応援マツト

ダスキン栄進 電話 823-7633

瀧川 隆 会員（長崎支部 出島地区会）

おかげさまで発売30年・ひと月1000円～2000円で健康に自信！

甦命茶

ふあんめいちゃ

厳選された国内産の
野草を独自にブレンド！

ティーバッグ30包入
2100円（税込）

0120-50-1388
株式会社 みやび園 長崎市京泊1-1-42

・甦命茶で体の中からキレイに！

・お肌納得！髪も満足！おなかスツクリ！

・甦命茶のモットーは『キレイで元気！』

健康食品に何万円もお使いの方
また、永年不調の方
是非、お試しください！

ハトムギ風味



太田 統会員（長崎支部 出島地区会）

第2分科会～社員共育～

未来を輝かせる会社を作る。

新卒採用と社員共育、企業変革は社員と共に

(株) コミプラ 代表取締役 時枝 寛 氏

大村支部 副支部長 益田智行

長崎県中小企業家同友会第20回経営フォーラムの第2分科会では福岡南支部に所属しておられます(株) コミプラ代表取締役時枝寛さんに同友会の共育についての報告をお願いしました。時枝さんは、高校時代からお父様嫌いで家業の会社を継ぐ気はなく、電気設備関連の一部上場会社に就職されました。しかし諸事情により退職し平成10年に(株) コミプラ(お父様の会社)に就職し常務を経て平成18年3月代表取締役に就任されています。

時枝家は家族4人全員が同友会会員で(株) コミプラは同友会精神に基づいた会社です。時枝さんが(株) コミプラに就職し事業承継を決める大きなきっかけになったのも、嫌いだったお父様の作っておられた経営指針書を見たことだそうです。しかし現実には社長になってから、事故やトラブルが続発し利益を追求するどころではなく対応に追われる中20名弱の社員体制で営まれ、3年間で30通の退職届の提出を受けたそうです。そんな中社員教育(教え育てる)をしなければと思い実践。しかし簡単には状況は改善されない。経営指針書の押しつけの教育ではなんら変わらない。教育からみんなで作りながら浸透していこうと考えることができるようになり、共育(共に育つ)に変わったそうです。

現在時枝さんは、同友会では共同求人や社員共



育の委員長を歴任し、専門委員会の全国行事にも積極的に参加しヒントを得てそれを基に社内で様々なプロジェクトを社員と共に企画運営し、会社を良い方向に変革する行動を実践されているそうです。

今回60分の分科会の報告の中で実際に体験された多くの社内の事例を赤裸々に示され、それにより変わっていく考えや行動に参加者も自分に置き換え感慨深い分科会だったと思います。私自身、今回の報告と事前の打ち合わせや雑談の中で感じた、自分は経営者としてお客様・社員・地域・自企業に携わる方達と将来に何を約束できるのか? どうあるべきなのか? そのために今何をするのか? 再考する良い機会をいただきました。

最後に今回の報告の中で時枝さんが幾度となく話されました。とにかく学んだことを頭の中に知識として置いておくのではなく、実践しないと何にもならない。実践したからといってすぐに良い結果につながらない。同友会での学び(ヒント)は漢方薬のような感じで、徐々にしか効いてこない。気長に諦めずにやり続けることが大事だということでもまとめいたします。

第3分科会～経営指針～

経営指針書作成の意義

経営のなかで一番重要視していること

井上熱帯園 (株) 専務取締役 井上 佳樹 氏

島原支部 支部長 敷島 広太

第3分科会は井上熱帯園(株)、専務取締役の井上桂樹さんに経営指針書作成の意義ということでご報告いただきました。

井上さんは今回のフォーラム報告者の中で一番若いのにもかかわらず、ものすごく勉強されていることにまずもって驚きました。入社したばかり

の井上熱帯園は、古参社員が多く人件費ばかりが高い現状を前に独学で社内改善を行おうとしますがうまくいかず、2011年に福岡同友会の経営指針作成セミナー、あすなろ塾を受講して指針書作成の意義を感じます。

指針書作成後、実践を通じて会社は大きく変わっていきますが、最も信頼していた左腕社員の突然の辞表を突きつけられるなど人の問題で壁にぶち当たります。

あまりに目標主義に陥ってしまったり、ベテラン社員との確執を経験する中で、何のための経営か、何のために働くのか、改めて考えるようにな

ります。

次第にとことん勉強した自分の考えを押し付けるのではなく、社員一人一人の話を辛抱強く聞いてあげるなど、コミュニケーションを大事にするようになり、社員の幸せを願うようになりました。経営指針書は「魔法の書」といわれるように必要不可欠なものではあるけれど、最終的には「人が大事、人を思いやる愛が大事」ということを熱く語られ締められました。

グループ討議では、オブザーバーや若い経営者も多く、「よく勉強されている」、「まず、経営理念を作りたい」「指針書作成セミナーに是非参加したい」などの声が多く聞かれ、学びの多い分科会となりました。

今、井上熱帯園では、商業施設・イベント展示



場等のクリスマス装飾の依頼で最も多忙な中でのご報告をいただきました。井上さん、誠にありがとうございました。

第20回 経営フォーラム2013 in SHIMABARA 懇親会



第20回 経営フォーラム in SHIMABARA ご来賓の皆様

(順不同)

長崎県知事代理	長崎県産業労働部	次長	池 内 潔 治 様
島原市長			古 川 隆三郎 様
雲仙市長			金 澤 秀三郎 様
南島原市長			藤 原 米 幸 様
島原商工会議所	会頭		満 井 敏 隆 様
島原商工会議所青年部	会長		寺 田 靖 功 様
(社) 島原青年会議所	理事長		梶 原 嘉 洋 様
島原倫理法人会	会長		橋 本 卓 也 様
長崎県商工会連合会	会長		宅 島 壽 雄 様
長崎県中小企業団体中央会	事務局次長 兼 総務情報課長		村 里 光 博 様
(財) 長崎県産業振興財団	専務理事		宇 戸 真 二 様
(株) 商工組合中央金庫	長崎支店 次長		上 野 貴 之 様
十八銀行頭取代理	島原支店 支店長		艶 島 博 様
親和銀行頭取代理	取締役常務執行役員		前 田 良 治 様
(株) ケーブルテレビジョン島原	専務取締役		清 水 真 守 様

県中小企業家同友会(松尾慶一代表理事)は8日、島原市内のホテルで本年度の経営フォーラムを開き、「地域を元気にする中小企業ブランド術」をテーマにした記念講演があった。

地方に眠るこだわり商品のブランド化に携わり、全国に発信するブランドینگプロデューサーの安藤竜二氏(愛知県岡崎市)が、価格を一本84円から200円に値上げしても、売り上げを250倍にしたサイダーを250倍にしたサイダー

県内企業の経営者ら約280人が参加。「企業連携」や社員と共に育つ「社員共育」などをテーマに分科会や全体会もあり、知恵や経験を学び合った。(下金智)

消費者への熱意大切

中小企業家同友会 経営フォーラム ブランド術で講演



県内企業の経営者らが参加したフォーラム
＝島原市、HOTELシーサイド島原

五島支部 例会報告

日 時	11月20日(水) 午後6時30分
会 場	福江総合福祉保健センター研修室
テ ー マ	同友会活動での学び ～あなたは同友会（五島支部）に 何を求めますか？～
報 告 者	(株) 諫早スイミング 代表取締役 平湯 湧一 会員（諫早支部）



いよいよ同友会の本格的活動の根幹を成すであろう、第一回例会が報告者に前代表理事で諫早支部の(株) 諫早スイミングを經營されている平湯湧一さんを迎えて行われました。

初めての例会というこ

とで、例会委員会委員長の設楽さんも五島支部メンバーも若干緊張気味でスタートしました。報告は、平湯さんが諫早スイミングを經營するようになった経緯や、これまで事業を行っていく中での転換期（思い悩む時期）において、同友会が人との巡り合いや、考えのキッカケを与えてくれたかという報告でした。内容は尊敬されてる方の言葉だけで、自身を見つめなおす旅にケニアまで行ったことや、經營理念をスタッフの言葉を組み合わせて作成したお話等、平湯さんの行動力には驚かされるものばかりでしたが、積極的に同友会活動に参加し、行動したから多くの気づきを得たのだろうなと思わせる報告でした。

その後のグループディスカッションでも、松尾代表理事を始め、五島支部以外からの応援メンバーがグループ長になり、不慣れな五島のメンバーを引っ張っていただきディスカッションを成



立させ、なんとかグループ意見をまとめることができました。このように他の經營者の報告を聞いて、真剣に意見を交換する機会はその他の団体でも、そう多くは無いと思いますし、その報告内容や意見交換の中から、新たな気づきやアイデアが生まれるのではないかと感じた例会でした。

もちろん例会後は懇親会を設定させていただき、平湯さんだけの希望で、五島名物『キビナのいりやき』をご用意させていただき、今度は五島支部のメンバーからキビナの食べ方のレクチャーが行われ終始楽しい時間を過ごさせていただきました。

今後は長崎同友会五島支部としてこのような機会を共有できる仲間を増やしたいと思います。酒見諫早支部長の言葉をお借りすると「同友会は太鼓、大きく打てば大きく響く！」という積極参加すると必ず答えが返ってくるということを、五島地域の經營者に伝えながら、五島支部が長崎同友会の本当の一員になれるようメンバー一同活動していきたいと思っております。

(文責 勝本政裕)

中同協 幹事会参加報告

11月1日 アルカディア市ヶ谷

10月31日・11月1日、東京で開催された第2回幹事会に参加させていただきました。前日の夜は九州・沖縄ブロックの懇親会があり、1日の朝から九州・沖縄ブロック代表者会議、午後から幹事会というスケジュールでした。

初めて参加させていただきましたが、率直な感想としましては、それぞれの専門部会報告や決議事項などがあり、中同協の定時総会のミニ版と感じました。しかしながら幹事会で報告をいただく内容はとても濃いものでした。

オーストリア・ドイツの視察報告から始まり、青全交、来期の広島全研や条例、社員教育などその報告内容は多岐にわたり、長崎同友会の委員会活動として取り組んでいる内容に加え、他県同友会や中同協が取り組んでいる実践報告に対してあらためて、同友会活動の意味と深さを感じる事ができました。

第二部では三重同友会の宮崎さん、中同協広浜幹事長から「人を生かす経営の企業づくり」に関する問題提起、具体的には「見える未来と見えない未来がある」「事業承継には組織の承継と資金の承継がある」という会員が直面する大事な内容でした。その背景にあるのが宮崎さん曰く「2017年問題」です。団塊の世代が70代

になるタイミング、全国で一斉に事業承継が行なわれるタイミングとのことです。その後問題提起を受け、「人を生かす経営の企業づくりをどう強化していくのか」のテーマでグループディスカッションを行いました。

問題提起の内容は同じテーブルには各地同友会の代表理事や事務局長が顔をそろえ、事業承継のために行っている事、また取り組んできた事の実体験を聴く事ができ、結果的には経営指針に基づく労使の信頼関係を構築し、継続して行く事が大事だとまとまりました。その中でも特に気付いたことは、代表者が年齢を重ねて行くと同時に社員も年齢を重ねて行くということ、つまり自分が引退（リタイア）する際は周りも同じ年齢になっているということでした。当たり前の話ですが中長期的な目で先を見据えた雇用計画と教育（共育）が必要だということです。現状を認識し、時代に合った戦略を考え、「同友会の財産を十二分に生かしてより高いレベルの人を生かす経営」（広浜幹事長によるまとめの抜粋）を実践していくことが企業の繁栄、地域の繁栄、同友会の繁栄に必ず繋がるということを強く感じた二日間。機会を与えていただいた事への感謝と、またその内容を長崎同友会に伝えて行く責務があることを再認識しました。

（文責 事務局 峰 圭太）

中同協 社員教育活動全国研修交流会 in 秋田 参加報告

日時：2013年11月20日（水）

13：30～21日（木）12：00

場所：秋田キャッスルホテル

<問題提起>

時代と地域から高まる「共育」への期待
中同協社員教育委員長 本郷 利武 氏

本大会へ入る前に、問題提起として本郷委員長より「共育」の期待と題して次の4つの事を提起されました。

1. いつの時代も「企業は人なり」
2. 学びを深め、時代の本質を見抜く力を養おう
3. 自社と地域
4. 共に育つ委員会

本郷委員長より、会社の主人公は社員一人ひとり。地域の主人公は住民一人ひとり。国の主人公は国民一人ひとり。という当たり前の中で、「人」を丁寧に考えていく必要がある。そして、教育をビジネスとして捉える傾向がある。ということに危惧された言葉が印象に残りました。

<第一分科会>

テーマ：人材こそゆるぎない企業づくりの根幹
～激変の時代を社員と共にのりきる～

報告者：同友会の人材育成理念に貫かれる

「労使見解」の精神

中同協相談役幹事 赤石 義博 氏

報告者：わが社における人間尊重の企業風土づくり
中同協会長 鋤柄 修 氏

両名より報告をいただきました。赤石氏より、著にも棒にも掛からない人間を相手にしなければならぬ時代背景や「社長のいうことは聞くな。」といった労使間の対立など、同友会の歴史と共に「労資」から「労使」に移行したお話や、「労使見解」が出来たときのお話を聴きながら、改めて労使見解の重みを学ぶことができました。そして、なによりも経営者と社員が同じ土俵に乗ることが大事であり、それまでのリーダーシップが特に大事であるとのお話が印象的でした。

鋤柄会長の経験・体験に基づく発表は大変参考になりました。大学の学生仲間と会社を設立し、技術や営業の事はわかって、経営の事は何一つわからない状況での同友会との出会い。そして労使見解から学び、組合が出来ても労使懇談会を毎月やるなどして、共に育つ企業風土づくりを実践してきた、との言葉に今の企業発展があるのだと実感しました。そして学習型企业とは、強いチームであり練習するチームである。表に出ないものを引き出してこそ成長する。そして、今では社員同士が労使となって会社を創っていつている、といった力強い報告に、やはり実践し成果をつくった経営者の報告は一味違うものであると感じました。グループ討論では、グループ長を務めさせていただき、全国の異業種の方からの発表が大変参考になりました。

＜全大会：基調講演＞

テーマ：ずぶん（自分）のあだま（頭）で考えろ
講師：佐藤藤三郎氏 農業問題評論家、作家

講演内容は、昭和10年生まれの講師の生い立ちから始まり、小学校の6年間で担任が12人も変わり、その一人無着先生との出会いがその後の人生に大きく影響したお話など、多岐に渡るお話が非常に面白かったと思います。ただ、面白さの中にも実体験で学んだ言葉が非常に印象に残りました。

講演中メモした言葉を紹介します。①教育は覚えることではなく考えること。②生きる力をつけることが大事。③働くことが好きにならなければダメ。④人間は、経済行為も大事だが、もうひとつ生きる場をつくる。経営者と社員が生きる場をつくることが大事。⑤仕事以外の場を与える、場を見つけること。⑥自分の能力を認めてもらった時が一番嬉しい。怒っているばかりの社長はバカ。⑦人は頼られると一番嬉しい。嬉しさを感じてもらう場をつくることが大事。⑧大企業よりも中小企業の方が自分の力が見えやすい。といった言葉が心に響きました。

2日間を通して、労使見解の問題提起から始まり、それぞれの分科会で共育を学び深め、懇親会で郷土料理に舌鼓しながら、翌日の基調講演が共育とは何か。具体的にどう実践しなければならぬか。など、より深い学びに繋がったと思います。参加させていただき、ありがとうございました。

（文責 長崎支部 出島地区会 土井幸喜）

九州・沖縄ブロック事務局研修交流会

日時：11月29日（金）11：00～
30日（土）12：00

会場：Gcomホールディングス（株）
福岡同友会事務局

テーマ：同友会と企業経営は不離一体

報告者：会長 平石 勝之 氏

今回、入局5年目にして初めて、事務局員研修会に参加をさせていただきました。

私が企業訪問をさせていただいた事業所は、福岡同友会会歴42年、同友会の歴史共に歩まれてきたGcomホールディングス（株）会長 平石



勝之さんです。まず、社内の見学をさせていただきました。顧客の個人情報扱っている為、静脈

認証などの最新セキュリティーを供えた部屋がたくさんあり、すべての備品に取り扱いの注意書きがありました、これは社員の方が自分達で自発的に始めたことだそうです。

次に、社内で平石氏に報告をいただきました。福岡同友会が50周年を迎えるにあたって、平石さんが自分でまとめられた、同友会での学びとその学びを生かして、自社で取り組まれた内容が一覧となった資料をいただきました。

同友会で学んだことは、必ず自社に取り入れるということを心掛けてこられたそうです。

私が一番心に残ったことは、社員に「気づかせようとする」のではなく社員が「気づくようになる」にはどうすればよいかを考えることが大切だということです。これは私たち事務局員にも共通する課題だと思います。

私が質問させていただいたのですが、「平石さんが42年の同友会活動で、一番心に残っていること」は、30歳の時に福岡同友会の第一次ビジョン策定委員会に参加をされたことです、平石さん

が委員の中で一番若かったそうですが、年齢も会社規模も違う会員が、一つになって話し合いを重ね、対等に意見を出し合うことに刺激を受け、深い感銘を受けたとのことでした。

二日目は全事務局員での報告、ディスカッションでした。私は、報告者として「パートからみでの事務局業務、同友会運動推進について」というテーマで報告をさせていただきました。

報告をするに当たって、自分の仕事を見直すこともできましたし、ディスカッションでは、同じ立場の事務局員のアドバイスを聞くことができ、仲間から教えられる恥ずかしさもありましたが、取り入れたいこと、取り組みたいことがはっきりとした形で見えてきました。

現状に満足することなく、よりよい長崎同友会に向かって業務に邁進して行きたいと思います。パートの立場である私にも、このような学びの機会を与えていただきありがとうございました。

(文責 岩永寛子)



日時：11月29日（金）11：00～
30日（土）12：00

会場：(株) シティーライン
福岡同友会事務局

テーマ：地区支部づくり～会員増強例会づくり～
報告者：代表取締役 田浦 通 氏

九州・沖縄ブロックでは5回目となる事務局研修交流会に参加させていただきました。中同協からの2名を加え総勢49名の各県事務局員が一同に会し、「同友会運動における事務局員の役割を相互に確認する」「事務局員としての誇り、働きがいを育む」「ブロック内の事務局員の交流と連帯を図る」の3つ目的を確認させていただきました。

1日目は10グループに分かれそれぞれのテーマを持ち、会員企業訪問、その後会員企業の研修

室で報告をいただきグループディスカッションを行いました。私は福岡同友会田浦代表理事の会社へ訪問、「地区支部づくり～会員増強例会づくり」というテーマのグループに参加させていただきました。労使見解をベースにし、同友会での学びをそのまま自社に取り入れられ、あらゆる面で「学びを実践」されている報告を伺う事ができました。グループディスカッションのまとめとしては「学びのサイクル実践し会員のなりたい姿と同友会のあるべき姿の合致点を探することで会員のフォローや増強にも繋がる」「労使見解をベースにした役員研修会の実施の大切さ」「小グループ活動を実施し会員企業の問題点を解決する」などの意見にまとめられました。

2日目は長崎の岩永局員を含め3名の報告、「同友会運動と事務局の役割」というテーマでグループディスカッションを行いました。他県の事例、考え、そして新たな気づき、アイデア等全てが新鮮で今までの自分の業務の幅の狭さに気付く事ができました。全体的に共通の確認事項として「事務局における会員企業訪問」。どのような目的で、何のためにという事も含め、長崎同友会でも今後会員企業訪問を積極的に行えるような仕組みづくりを考えて行きます。また小グループ活動やその他に付随する仕組みも同時進行で考え、会員皆様

と一緒にって事務局員として働きたいのある環境や誇りを謙虚な姿勢で今後も学び続けたいという強い意志をあらためて感じる事ができました。日々の業務ひとつひとつにおいて気付き、学ぶことができる同友会事務局。今回学ばせていただいた

た事を実践へと結びつけ、2年後宮崎、4年後長崎での研修会に向けてまた事務局員一同業務に邁進したいと思います。このような機会をいただきありがとうございました。

(文責 峰 圭太)

日 時：11月29日（金）11：00～
30日（土）12：00

会 場：（資）若竹屋酒造場
福岡同友会事務局

テーマ：地域づくりと企業経営
報告者：社長 林田 浩暢 氏



今回初めてこのような研修交流会に参加させていただきました。

私は今回、（資）若竹屋酒造場14代目社長、林田浩暢さんを訪問させていただきました。福岡県久留米市田丸町にある酒造場の酒蔵は1699年総業以来、300年以上の歴史が刻まれた風情ある佇まいでした。酒蔵の中にはいつもお客様の反応を見ることが出来るようにと試飲コーナーを設けられていました。林田さんをはじめ社員の方々のお客様をもてなす心、上品に陳列された商品の一つ一つ、全てが洗練されており、林田さんの地域に密着した企業経営への高い志に感銘を受けました。

林田さんの報告では、同友会の組織運営が学びであるとし、その学びが自社の組織運営へと繋がっていること、企業経営者として一番大事にされていることは納税と雇用であるということ、ま

た、最近では障がい者雇用にも積極的に取り組まれていること、そして何よりも地域文化を語り継ぐために共に発展できる人材を見つけ育てることなどに、労使見解を交えながらお話しいただきました。

林田さんの報告の中で一番印象に残っていることは、自らが良いと思うことは全て皆さんと共有し、相互に高め合い、現状に満足するのではなくそこからまた更に新しいものを創り出そうとする自分自身のモチベーションへ繋がっているということでした。組織づくりを人づくりとし、常に謙虚に学ぼうとされる前向きな姿勢に感動いたしました。学ぶ人であるほど、繋がり、そして可能性を広げることができるのだと感じました。

林田さんが事務局員に求められていることそれは、会員の方々の声に常に耳を傾けることのできる、よき相談相手であり、よきパートナーであって欲しいとのお言葉をいただきました。入局させていただき、2か月という間もない期間の中で、このような貴重な経験をさせていただきましたことに大変感謝しております。他県の事務局の方々との情報交換の場も設けていただき、交流も深めることができました。同時に私自身の意識も高まりました。この経験を決して無駄にすることのないよう、今後の取組みに繋げて行きたいと強く思いました。

新しいことに挑戦し続けること、それは現状を維持できているからこそであり、また、現状を支えくださっている社員の方々、仲間の存在があるからこそだということを深く理解させていただいた2日間でした。

本当に有難うございました。

(文責 江藤 香)

広告募集

< 4cm × 9cm >

複数月 割 引	6ヶ月	12,000 → 10,000
	4ヶ月	8,000 → 7,000
	3ヶ月	6,000 → 5,000

折込サービス開始！

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを始めました。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月15日～20日に行います。支部指定も出来ます。

A4チラシ1枚5円です。**A3チラシは2枚分**となります。ご利用お待ちしております。

日 時：11月29日（金）11：00～

30日（土）12：00

会 場：（株）紀之国屋

福岡同友会事務局

テーマ：同友会運動と企業経営

報告者：会長 中村 高明 氏



11月29, 30日（土、日）に第5回九州沖縄ブロック事務局研修交流会に参加させていただきました。

1日目、私は他県同友会事務局員4名と（株）紀之国屋 中村さんを訪問いたしました。

まず社内見学をしたのですが、玄関を入ってすぐのところに社用車全ての燃費の一覧が掲載しており、常に数字を意識することで燃費向上に取り組まれていました。またエアコンのスイッチの横には設定温度を指定した貼り紙がしてあるなど、すべての掲示物などが非常に細かく誰が見ても分かり易い形で書いてあり、これは見習うべきものだと思います。

その後中村さんから報告をしていただきました。中村さんは同友会に入会する以前は社員の顔を伺うばかりでノイローゼのような状態になり自殺しようとしてまで考えられたそうです。そんな時に中村さんを心配した知り合いの方に同友会を紹介され入会をされました。

同友会で活動する中で経営指針作りの大切さを知り、すぐにセミナーに参加をして経営指針の作成に取り組まれました。その中で社員の労働条件を引き上げることが経営状況を良くすることにつながるということに気付き、すなわち人を生かす経営の実践となりました。

また初めは中村さん一人で作られていた経営指針も、社員の方の意見を取り入れ作成するように

なられました。そのように社員の意見を取り入れる中で意見を集約する場として、社員による委員会も自発的に作られるようになり、現在では6つの委員会が組織されているということでした。

これは同友会活動の支部ごとの縦の活動、委員会ごとの横の活動を取り入れた会社作りで、同友会で学んだことを中村さんなりに消化をされて取り入れた素晴らしい取り組みであると感じました。

今回の訪問のテーマでもあった「同友会運動と企業経営は不離一体」がどういうものなのかということ学ぶことができました。最後に中村さんから同友会事務局に期待することとして以下お伝えいただきました。①健康を増進する。②自分の頭で考える。③明るく元気のある職場作り。④世の中の変化を絶えず学ぶ。中小企業への影響を学ぶ。⑤B/S、P/Lの見方を学ぶ。⑥同友会運動の歴史と理念を学ぶ。⑦会員のパートナーであること。同友会運動の「主体者」であり、「根拠地」「定点観測者」「新風を吹き込む提起者」ということをよく理解している。⑧自分が所属する件の同友会の進展度合いを、他県の同友会と比較し掌握する。目標を設定する。⑨会員の中で運動のリーダーになり得る人を見出して育てる。⑩増強（仲間づくり）を常に意識し行動する。以上、10の項目の期待に応えることが出来るよう今後の事務局での仕事に取り組んで参りたいと思います。

2日目には、事務局員3名による報告があり長崎からは岩永局員が報告をいたしました。

報告後グループ討議となり、「同友会運動と事務局の役割」といったテーマを基に討議がなされました。私が参加したグループでは、同友会運動を進める上で企業訪問が重要であるということを確認し、各県同友会事務局の抱える問題点や活動状況について活発に意見を交換することができ、とても有意義な全体研修となりました。

この研修に参加をして、学んだことを活かし、長崎における同友会運動をより活発に進めていけるよう貢献したいと感じております。

（文責 田口友廣）

委員会活動一覧

10月21日(月)

第9回経営フォーラム実行委員会(愛野公民館)

参加者: 20名

内 容: 各支部の詳細等

10月24日(木)

共育委員会 勉強会(グランドパレス諫早)

参加者: 15名

内 容: 共育委員会講演

「共育を経営に生かす」

～経営計画書に生かす共育思考～

(株)長崎地研 代表取締役

村山隆之氏(佐世保支部会員)

10月24日(木)

情報広報委員会(カフェバーキューブ)

参加者: 4名

10月25日(金)

五島支部設置委員会(諫早観光ホテル道具屋)

参加者: 10名

内 容: 今後の五島支部の支援についての協議

11月1日(金)

仲間づくり委員会(つくば倶楽部)

参加者: 7名

内 容: 10月16日の増強デーについて反省会

11月15日(金)

第1回 それいけ!パラモン委員会

(つくば倶楽部)

参加者: 7名

内 容: 11月度の五島例会および今後の日程確認等、検討

11月21日(木)

第10回 経営フォーラム実行委員会

参加者: 18名

内 容: 決算関係等

11月22日(金)

第2回 例会委員会

参加者: 9名

内 容: 1 各支部・地区例会の2013年度上半期の実施内容について

2 各支部・地区例会における課題・問題点について

3 各支部・地区例会の2012一下半期例会の展望について

4 今後の例会ビジョンについて

5 その他(情報交換)

11月25日(月)

情報広報委員会

参加者: 4名

内 容: 1 広報誌編集に関しての打合せ

2 来期の活動に関する確認

1月例会案内

●長崎支部 浦上地区会

日 時 1月21日(火) 午後6時

会 場 ギャラリーヘキサ

テ - マ 「逆風を追い風に変えて」

報 告 者 Sweet Majoram オーナーシェフ
庄司 博昭 会員

保険外交員時代には優秀な成績を残し、グランプリも獲りました。35歳のときに心機一転、洋食イタリアンのオーナーシェフになろうと志し辞職。

レストランでアルバイトして修行するも、30半ばの素人という理由でバカにされいじめられ苦労ばかりでした。ようやく2000年に島ワフに念願のお店を出しました。

そこからも苦労の連続でしたが、悲観的にならずに前向きに努力と行動をしました。

結果、周りの方々からの信頼と応援を得て、人気も上がりテレビにも出るようになりました。

2007年からお店を銅座に移転。「五十六は鼻タレ、七十八が働き盛り、九十でお迎えが来て、百まで留守だと追い払え。」の精神で活躍する庄司氏の波乱万丈な人生を報告していただきます。

●長崎支部 出島地区会

日 時 1月22日(水) 午後6時

会 場 サンプリエール

テ - マ 我が社における共に育つ風土づくり

報 告 者 (株)ドゥアイネット 代表取締役
土井 幸喜 会員

コンピュータプログラム受託開発業は、お客様の要望を聞くことから始まります。お客様が実現したい事をソフトウェアという無形のものから価値のあるものに作り上げて行く。『形(かた)』までは、そこそこの技術・サービスで出来るかもしれませんが、『顧客価値』の『値』に到達するまでには、更なる技術・サービスの向上が必要です。『顧客価値』を作り上げるプロセスにおいて『人づくり』は欠かすことが出来ません。

今年度、私が育委員長を務める県共育委員会の内容も踏まえ、1月例会では以下の内容で報告をさせていただきます。

当社の経営理念は、『要望をかた値に変える人づくり』です。

1. 我が社の企業概要
2. 何故、経営指針書が必要か
3. 何故、共に育つことが必要か
4. 我が社の共に育つ実践報告
5. 社員共育活動全国研修交流会/秋田の参加報告
6. まとめ

●大村支部

日 時 1月16日(木) 午後6時30分
 会 場 梅が枝荘
 テーマ 新年に表明する！今年の決意！
 報告者 参加者全員

会員が、来年一年間それぞれに課題を持って生きていただくために、新年の決意（会社・個人どちらもOK）を色紙に書き、皆さんの前で発表し、その色紙を、それぞれの会社等に貼っていただく。

●諫早支部

日 時 1月28日(火) 午後6時
 会 場 諫早観光ホテル 道具屋
 テーマ 共育『社員教育といわれても…』
 ～社員から教えられ
 人に感謝するだけと思うのです～
 報告者 ニコット・サービス(有) 代表取締役
 江口 陽一 会員

●島原支部

日 時 1月16日(木) 午後6時30分
 会 場 シーサイド島原
 テーマ 持ち味カードの活用の仕方
 報告者 しんかん社会保険労務士事務所
 西山 浩之 会員

大手人事労務コンサル会社が数多くのコンサルティングで培ったノウハウを活かし、現代のビジネスパーソンに必要な要素を70枚のカードに厳選・体系化した社員の持ち味、隠し味を発見出来る、今日持ち帰って明日使える報告をしていただきます。

2014年 新年賀詞交歓会

2014年1月17日(金)
 ホテルニュー長崎

第一部 記念講演 15:00

講演テーマ：「企業連携と今後」
 《連携こそが中小企業の生きる道》
 報告者：中同協企業連携協議会 会長
 (株) 中央電機計器製作所
 取締役会長
 畑野 吉雄 氏

第二部 懇親会 17:00

●佐世保支部

日 時 1月25日(土) 午前10時
 会 場 八幡神社(御祓い)
 魚魚の宿(慶祝例会)
 内 容 慶祝例会を充当

10:00より八幡神社で御祓いをします。
 19:00より魚魚の宿で慶祝例会を開催します。
 新たな1年の始まりを、同友会の仲間と共に元気に迎えましょう！皆様奮ってご参加ください！

●北松浦支部

日 時 1月23日(木) 午後7時
 会 場 サンパーク吉井
 テーマ 「銀行とどう付き合っていくか？」
 ～地域再編の行方を踏まえて～
 報告者 (株) 親和銀行 佐々支店 支店長
 大串 祐一 氏

●五島支部

日 時 1月21日(火) 午後7時
 テーマ 「同友会での学び」 同友会の魅力とは
 報告者 (資) 南陽商会 専務
 三田 茂樹 会員

五島のメンバーへ同友会の魅力を伝え、今後の活躍と支部成長の奮起を促すことを趣旨とする。

●青年経営者会

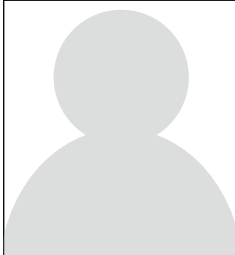
日 時 1月28日(火) 午後7時
 会 場 同友会事務局(予)
 テーマ 「私の履歴書」
 ～あくまでも真摯に、そして奇抜に～
 報告者 さんち家具
 平野 圭司 会員

学生時代はサッカーに明け暮れた日々。社会人になってからは福岡、北九州でそのフットワークを活かし営業マンとして第一線で活躍。そして長崎に戻ってから親が経営するさんち家具に入社。後継者というプレッシャーにも負けずに日々精進し、インテリアコーディネーターの資格も取得しました。家具が演出する豊かな日常の素晴らしさをみんなに広めること、温もりや伝統を守りつつも斬新なアイデアで家具を創造し、そして北欧に負けないデザイン家具をこの長崎の地から生み出し「IKEA」ならぬ「SANTY」を世界に発信することが夢です。



(敬称略)

支 部 名	長崎（浦上地区会）		
氏 名	いちのせ てっぺい 一ノ瀬 哲平		
企 業 名	一ノ瀬工業		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒850-0077 長崎市小瀬戸町799-2-1F		
T E L		F A X	095-865-5846
業 種	船舶造修業		
スポンサー	西山 展司		



支 部 名	長崎（浦上地区会）			
氏 名	いりえ ふみとし 入江 文敏			
企 業 名	インハウス（株）			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒852-8145 長崎市昭和3丁目324-4			
T E L	095-894-7101	F A X	095-894-7102	
業 種	建設業・不動産業			
企 業 P R	「安心して長く住める家を、一緒に考えませんか？」 《長期優良住宅》《オール電化・太陽光発電》 《不動産・土地探し、土地調査》《施主支給》での工事も対応いたします！！ 小さな工事や部分リフォーム、介護リフォームなど、その他の工事も対応致しますのでお気軽にご相談下さい。」			
スポンサー	金田 昭子			



支 部 名	長崎（浦上地区会）			
氏 名	つじはら たかし 辻原 隆			
企 業 名	ツジハラ防水			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒852-8053 長崎市葉山2丁目39-20			
T E L	090-8224-7183	F A X	095-855-1014	
スポンサー	西山 展司			



支 部 名	長崎（浦上地区会）			
氏 名	はまだ まさふみ 瀨田 雅文			
企 業 名	瀨田與壽税理士事務所			
役 職 名	後継者			
企 業 住 所	〒850-0036 長崎市五島町7-18			
T E L	095-824-1741	F A X	095-824-1726	
業 種	税理士業			
企 業 P R	個人事業者から法人まで親切に対応します。			
スポンサー	森 千尋			



支 部 名	長崎（浦上地区会）			
氏 名	やまさき やすひこ 山崎 泰彦			
企 業 名	(株) 港栄			
役 職 名	取締役			
企 業 住 所	〒852-8035 長崎市油木町16-14			
T E L	095-842-0068	F A X	095-842-0075	
業 種	船舶造修業			
企 業 P R	創業以来、三菱重工業長崎造船所をはじめ、多くのお客様に認めていただいた当社の技術は、客船・イージス艦の薄板加工溶接・歪取りを実施。船舶・プラント等様々な分野で確かな実績を残しています。			
スポンサー	西山 展司			



支 部 名	長崎（出島地区会）			
氏 名	きたがわ ひであき 北川 秀昭			
企 業 名	ソフトエンジニアリング（同）			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒850-0852 長崎市万屋町5-32 第2ノ瀬ビル306号			
T E L	050-3584-6769	F A X	050-3584-6769	
業 種	解析・設計			
企 業 P R	解析、設計、プログラミング技術を組み合わせ、経験も踏まえて総合的に設計を支援します。			
スポンサー	濱田 利夫			

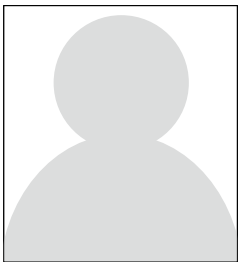


支 部 名	長崎（出島地区会）			
氏 名	うちだ としお 打田 俊雄			
企 業 名	長崎ホームメンテナンス			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒852-8053 長崎市葉山1丁目33-13			
T E L	095-857-3633	F A X	095-857-3633	
業 種	白蟻消毒			
スポンサー	品川 廣紀			



A 10x10 grid of plus signs (+) on a black background. The grid is composed of 10 rows and 10 columns, totaling 100 plus signs.

支 部 名	長崎（出島地区会）	
氏 名	まつせ けいすけ 松瀬 圭介	
企 業 名	(株) D A X	
役 職 名	代表取締役	
企 業 住 所	〒850-0078 長崎市神ノ島町1-366	
T E L	095-865-5554 F A X 095-865-0098	
業 種	自動車修理、販売	
企 業 P R	全労済の指定工場。 当社の钣金技術は高い評価をいただいております、代車はスズキの新車を提供しています。	
スポンサー	福井 義憲	

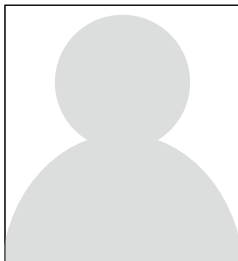
支 部 名	長崎（出島地区会）	
氏 名	よしだ はじめ 吉田 一	
企 業 名	クリーンアップ Bee-1	
役 職 名	代表者	
企 業 住 所	〒850-0902 長崎市丸山町7-28 思案橋ハイツ青葉101	
T E L	095-826-6363 F A X 095-826-6363	
業 種	清掃業	
企 業 P R	店舗、内装、クリーニング、美装、ソファ張替及びクリーニング。	
スポンサー	山口 憲男	

支 部 名	諫 早	
氏 名	すが たかのふ 菅 隆信	
企 業 名	(有) 自然館	
役 職 名	代表取締役	
企 業 住 所	〒854-0011 諫早市八天町14-1	
T E L	0957-23-6670 F A X 0957-23-6724	
業 種	自然食品販売	
企 業 P R	自然食品、健康補助食品、健康器具、自然派化粧品、圧力鍋、空気清浄器、浄水器、マイナスイオン発生器など生活関連グッズを取り揃え、店舗2店舗とインターネットを通じての販売で全国展開しています。	
スポンサー	山田 康成	

支 部 名	島 原	
氏 名	ほんだ しょういちろう 本多 勝一郎	
企 業 名	本多兄弟商会	
役 職 名	(後継者)	
企 業 住 所	〒859-2111 南島原市布津町甲706	
T E L	0957-72-4317 F A X 0957-72-4327	
業 種	製麺業	
企 業 P R	手延そうめん、手延うどんの製造販売を行っています。御中元や御歳暮、冠婚葬祭などの贈答品として県内外のお客様に御利用いただいております。	
スポンサー	敷島 広太	

支 部 名	佐世保	
氏 名	おだ まさお 小田 雅男	
企 業 名	おだ建築	
役 職 名	代表者	
企 業 住 所	〒858-0922 佐世保市鹿子前町780-23	
T E L	0956-24-8079 F A X 0956-24-8081	
業 種	建設業	
企 業 P R	住宅の新築・リフォーム よろしくお願ひします。	
スポンサー	村山 隆之	

支 部 名	佐世保	
氏 名	ほりいけ みつやす 堀池 充保	
企 業 名	フェイス・ファクトリ	
役 職 名	代表者	
企 業 住 所	〒859-3226 佐世保市崎岡町1248-2	
T E L	0956-39-5065 F A X 0956-39-5060	
業 種	新車、中古車、車検、板金	
企 業 P R	中古車と車検に安心2年間保証。全国10,000社の加盟整備工場が対応。最長、3年間保証・ロードサービス付、ダイハツピット店。	
スポンサー	中島 禎雄	

支 部 名	佐世保	
氏 名	やぎ じゅんぺい 八木 順平	
企 業 名	(株) 天津包子館	
役 職 名	取締役常務	
企 業 住 所	〒857-0872 佐世保市上京町3-4	
T E L	0956-23-1111 F A X 0956-25-2983	
業 種	飲食業	
スポンサー	今林 京子・豊福 和明	

支 部 名	五 島	
氏 名	たにがわ かずお 谷川 和夫	
企 業 名	(株) 谷川商事	
役 職 名	次長	
企 業 住 所	〒853-0015 五島市東浜町1丁目15番1号	
T E L	0959-72-3551 F A X 0959-72-6366	
業 種	住宅商品全般卸売製造業、リフォーム工事	
企 業 P R	・住宅の卸売（全商品）一部製造 ・リフォーム工事 ・太陽光発電の販売施工	
スポンサー	増山 勲次	

理事会報告

2013年12月理事会 議事録 抜粋

2013年12月5日(木) 16:00 諫早観光ホテル 道具屋
出席: 16名 欠席: 8名

※握手タイム

仲間づくりについて

1) 入会・退会の承認についてー16名の入会、5名の退会、1名の取り下げを承認

2) 仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について

※2月18日開催予定の増強デーを2月5日に変更します(五島支部例会と重なったため)

※会員資格に関する2013年度8月理事会における決議事項

(参考ー2013年8月理事会議事録)

原則支部役員会で推薦するかどうか判断し、理事会で承認を得る形をとる(緊急の場合はメーリングなども考えられるが基本は支部役員会時に判断)。会員資格基準の明示に関しては規約もしくは活動の手引きにある通り。判断に迷う時は支部で相談し、理事会に承認を図る。

(参考ー長崎県中小企業家同友会規約 第2章 会員 第6条)

本会は、この会の趣旨に賛同する中小企業家等、それに準ずる人々および学識経験者を会員とします。

(参考ー活動の手引き)

中小企業家およびそれに準ずる人とは?

「経営権をもって自主的に経営している人であること」

中小企業家に準ずる人とは?

弁護士、税理士、公認会計士等の専門家、著述家、芸術家等の自由業、研究所、病院、学校等の経営者など中小企業運動にとって不可欠な人々です

報告・連絡事項

1) 例会について(更なる例会の充実を目指して)ー尾崎例会委員長

11月は経営フォーラム、12月は忘年例会が多いようです。11月22日に例会委員会を開催しましたが各支部(地区会)とも出席率が低下しています。支部長(地区会長)は対策をお願いします。また事務局から例会報告者一覧を出してもらいましたので今後の報告者としての参考にし、魅力ある例会づくりをお願いします。

2) 入会申込のタイミングについて

増強デーの開催により、会勢が拡大している。しかし、入会申込書を拝見すると来年1月、3月など先の入会予定者が何名かいらっしゃる。現状は「理事会承認月が入会月」とあるため、当月理事会では当月入会の方のみ、理事会に提出させていただきたいと思います。

3) 退会の流れについての再確認

現状のルールとして退会希望の方から事務局へご連絡いただいたら、S P、支部長(地区会長)に直接ご本人からご連絡をしていただき、支部長やS Pは慰留の方でお話をいただく。最終的に退会が在籍かという結論を支部長と事務局双方向で確認し、結論を出す事を再度確認。

4) 中同協関係の件

①主要行事の紹介と参加促進

理事は年1回、支部役員は2年に1回は全国大会に参加しましょう!(申し合わせ事項)

2月13・14日(木・金)

第44回 中小企業問題全国研究集会(略称:全研)/広島

6月12・13日(木・金)

女性経営者全国交流会/熊本

7月10・11日(木・金)

第46回定時総会/新潟

5) 第2回幹事会報告および新春幹事会案内(松尾代表・事務局峰)

現在、民法改正の動きがあります。銀行融資の際の個人保証、第三者保証など経営者にとっては関わりが深い部分です。同友会としては各県の議会に陳情書を提出する予定にしていたが、ある情報から甘利大臣が年内にガイドラインを出すということもあり、同友会としては年内は静観する予定。結果をみて1月の幹事会で決定していく方針。事前段階として添付の資料を各自目を通し、勉強をお願いいたします。※あわせて新春幹事会の案内も添付しておりますのでご参加のご検討をよろしくお願いいたします。

6) 県版活動の手引き作成進捗状況

現状進捗なし。2月までには完成させる方向(濱田支部長)

7) 賀詞交歓会について

(1月17日(金):ホテルニュー長崎 15:00~18:50)

詳細は会場と詰めている段階。

浦上...9、出島...7、大村...4、諫早...6、島原...6、佐世保...4、北松浦...2、五島...4

(※12月4日14時現在...42名)

8) 日本政策金融公庫からの提案について

中同協広浜幹事長の繋がりで公庫と全国同友会との連携を強化にしたいという方針。長崎も支店長がお見えになり、支店長レベルでのご提案をいただきました(例会や総会、フォーラム時に公庫の制度発表など)。今後関わりも深くなるといいますので進捗を事務局から報告、また支部内でも関わり方などご検討ください。

・年末年始休暇確認

12月28日(土)~1月5日(日)が年末年始休暇となります。仕事始めは1月6日です。

協議・承認事項

1) 経営フォーラムに関して

・最終登録状況(オブザーバー含)

	登録目標	登録状況	当日出席	達成率
長 崎	95	58	50	61.0%
(浦 上)	50	26	24	52%
(出 島)	45	32	26	71.1%
大 村	40	36	27	90%
諫 早	40	38	35	95%
島 原	50	92	81	184%
佐 世 保	40	28	25	70%
北 松 浦	15	16	9	106.7%
五 島		2	2	
合 計	280	270	232	96.4%

※上記表に他県3名含む

決議事項

- ・入会16名、退会5名を承認。島原支部の1名に関しては取り下げ
- ・2月18日開催予定の第3回増強デーを2月5日に変更することを確認
- ・ビジョン案に関しては1月理事会で審議する事を確認
- ・HPを来期リニューアルする点に関して、継続して進めることを確認
- ・フォーラム収支を承認
- ・賀詞交歓会参加目標を各支部役員会等で検討し12月26日までに事務局へ連絡することを確認
- ・アンケート回収の目的を再度説明した文書を政策委員長名で再度発信することを確認
- ・来期予算に関して、五島支部理事交通費7,000円および地域補助(当面200,000円)を承認
- ・県総会開催曜日について、通年土曜日開催が会員の参加しやすい日程を検討するため平日開催がいいかどうか、支部役員会で協議し12月26日までに事務局へ連絡することを確認

※次回日程ー2014年1月8日(水) 19時~つくば倶楽部

分譲型太陽光発電所で
節税対策しませんか?

詳しくは クリック

ソーラー経営ナビ 検索

メカソーラーを
断念された
法人様へ!!
土地がない方
でも安心の
分譲型!!

太陽光発電収益シミュレーション

初期投資
約1,991万円
20年度の総収入
約3,942万円
年間の発電額
52,140kWh × 37.8円 = 1,970,892円
年間発電量
約300万円の収益

10
年
の
利
益

法人の方なら「グリーン投資減税」が適用され節税効果あり

HouseDO 住宅情報モール 株式会社 大一建設 0120-553-141

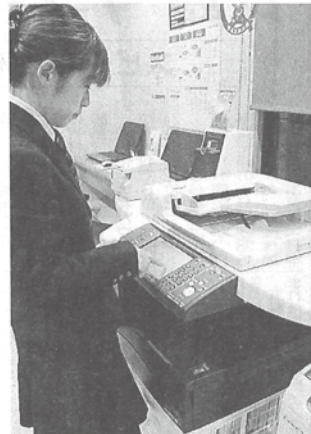
山下 輝昭会員(佐世保支部)

会員活躍

▼長崎新聞 2013年11月19日

2013年(平成25年)11月19日 火曜日

PC使わずネット資料印刷



パブリックプリントサービス機能を搭載した複合プリンター
＝長崎市大黒町、ホテルウイングポート
長崎

九州教員(大村市)は、パソコンなしで資料を印刷できる「パブリックプリントサービス」を長崎市内3カ所のホテルで導入した。サービス提供元の富士ゼロックスによると、ホテルでの導入は全国初。ビジネス向けサービスを充実させ、集客につなげる考えだ。

九州教員

「パブリックプリント」は、インターネット上の保管場所に、文書や画像といったファイルを登録。ホテルのプリンターに暗証番号を入力して印刷する。例えば出張先(長崎)で急に配布資料の修正が必要となった場合

長崎市内に3カ所 ホテルで全国初

合、パソコンがなくても本社(東京など)から送られた修正版をホテルのプリンターで印刷できる。データ容量などによるが3～5分で印刷が可能。利用にはユーザ登録が必要。料金は白黒なら1枚20円、カラーは60円(A3サイズは100円)。「SUGOCA」などJR九州の電子マネーでの精算も可能。九州教員ホテル事業部が運営する「ウイングポート長崎(大黒町)」「ホテルクオアレ長崎駅前(同)」「ホテルビュー長崎出島(江戸町)」で利用できる。(鶴田和人)

オランダ屋企画

長崎の生花販売業



持ち込まれたバッテリーを手に、利用を呼び掛ける
川口社長
＝時津町、エコリファイナー

鉛バッテリー再生

生花販売という本業のかたわら、能力が低下した鉛バッテリーの再生事業に取り組む企業がある。長崎市の町田オランダ屋企画。川口義己社長は「再生事業は県内で初めて。経営コスト削減や環境改善に効果がある」と話し、多くの利用を呼び掛けている。鉛バッテリーは高所作業車やシニアカーなどに広く利用されている。川口社長によると、再生事業では約40万円で済む、再生事業に取り組んだのは3年ほど前。名古屋市の先進企業から技術提供を受けて始めた。「鉛バッテリーは製造過程で二酸化炭素(CO₂)が発生し、能力が低下すると破壊されていた。環境問題や経費削減に役立つ事業として社会貢献できればいい」という。(川口社長)

オランダ屋企画環境事業部「エコリファイナー」(西彼時津町)によると、再生はバッテリーを分解し、再利用可能な材料を抽出する。再生したバッテリーは、高所作業車やシニアカーなどに広く利用されている。川口社長によると、再生事業では約40万円で済む、再生事業に取り組んだのは3年ほど前。名古屋市の先進企業から技術提供を受けて始めた。「鉛バッテリーは製造過程で二酸化炭素(CO₂)が発生し、能力が低下すると破壊されていた。環境問題や経費削減に役立つ事業として社会貢献できればいい」という。(川口社長)

▲長崎新聞 2013年11月22日

会員消息

会 員 数 (12月5日現在)

	長 崎	(浦上)	(出島)	大 村	諫 早	島 原	佐世保	北松浦	五 島	合 計
目 標	235	125	110	65	80	60	120	40		600
期 首	186	101	85	48	51	34	86	30	21	456
現 在	206	118	88	52	56	37	94	31	23	499

退 会 者 (敬称略)

会 社 名	会 員 名	支部・地区会名
(有) システムサポート	山 本 浩	長崎 (浦上)
(株) MLH長崎	生 田 隆 男	長崎 (出島)
(株) 黒岩商事	大 崎 千 弘	長崎 (出島)
(株) ねむの木	山 口 明 子	諫 早
江上郵便局	野 副 哲 也	佐 世 保
よしむら	平 田 眞由美	佐 世 保

●新会社

北村 貴寿 会員 (大村支部)
会社名: (株) Rana 代表取締役
業 種: メディカルエステ
住 所: 〒856-0835
大村市久原2-902-1
電 話: 0957-47-5515
FAX: 0957-47-5506

●新会社

張本 洋二 会員 (諫早支部)
会社名: (株) 張本創建
新役職名: 代表取締役
※その他変更なし

●会社改変

山川 弘幸 会員 (佐世保支部)
会社名: 山川技研 (株)
新役職名: 代表取締役
※その他変更なし